

# 墨田区議会

# 自由民主党会派報

発行  
墨田区議会自由民主党  
墨田区吾妻橋 1-23-20  
発行責任者 中村 光雄  
編集責任者 出羽 邦夫

区議会ホームページ  
http://www.city.sumida.tokyo.jp/~kugikai/

## 第三回定例会での質問概要

平成17年9月13日～30日

### 代表質問



出羽 邦夫

#### ●今年度の財政調整について

**問** 都区財政調整算定の結果、予算と十億円近い乖離が生じたが、減収分をどう補うのか。  
**答** 来年一月の再調整分と市町村民税法人分の伸びが予想されるので、算定割れは解消できる。

#### ●介護保険法の改正について

**問** この六年間で、総費用は約六倍になったが、どの要介護区分が増え、どの分野の介護サービス利用が伸びたのか。  
**答** また、元氣な高齢者づくりに、より多角的な有効手段を考へるべきで、地域密着型サービスなどを活用できる制度になるよう努力が必要だ。

**問** 要支援・要介護1の人が大幅に増加し、訪問介護、通所介護などの費用が大きく伸びた。  
**答** 転倒骨折予防教室や栄養指導などを予定しているが、国の検討結果をみて、メニューの拡大も考へる。

本区は地域特性や民間活力を生かすことは必要だ。第三期墨田区介護保険事業計画を策定する中で考へえを取り入れ、より良い制度となるようにしていきたい。

#### ●環境基本条例について

**問** 予定されている環境基本条例は、実効性が懸念されるが、目標値や実施行動計画をどう設定していくのか。  
**答** 環境基本計画を区民の参画を得て策定し、目標や指標の設定を担保していきたいと考えている。

#### ●団塊世代の退職期への対応について

**問** 昭和22年から24年生まれの第一次ベビーブーム、いわゆる団塊の世代の人たちが退職期を迎えているが、本区の職員においても、部長・課長の管理職、係長クラスまで入れれば相当数の退職者が予想される。これら多くの人材が退職した後の、組織改正や運営をどう考へるのか。  
**答** 民間の先進例を参考にし、検討中であるが、具体的な方策を立てるまでは、しばらく時間が欲しい。

#### ●18年度教科書採択と副読本の作成・使用について

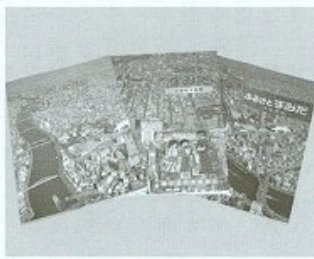
**問** 18年度から使用される中学校教科書用図書を選択が決定したが、本年の選定方針は前回とどう異なるのか。  
**答** 第二回定例会で、開かれた教科書採択の一層の推進に関する請願を採択したが、適切な審議環境確保のため、どのような判断基準で審議会運営にあたるのか。

また、地域特性、ふるさと意識などを育むための副読本が作成されているが、その「わたしたちのすみだ」には、子どもにとって刺激的な言葉が並び、小学三・四年生で扱うには無理

があり、異質に感じられる。どのような目的で作成・使用されているのか。  
**答** 教科書や副読本は、偏りの無いものが使われるよう、教育委員会は指導・監視を続けてほしい。

#### ●図書選定審議会は、すべての見本本の審議結果を答申するが、今回は「推薦する二種」という明記を削除し、絶対的評価で審議を行い答申することとした。

審議会委員には最初の段階で説明し、学校長を通じて各学校教員にも事前に周知徹底した。審議会委員は地域代表、保護者の枠を一名増やし、区民の意見を一層反映させる一方、審議環境確保のため、日程や委員名は非公開で審議を進めた。この採択に関する議事録などの諸資料は、請願の趣旨にそって積極的に情報提供する。



副読本「わたしたちのすみだ」は、小学三・四年生の社会科で、身近な地域を学ぶ時の学習効果を高めることを目的としている。ご指摘の点は、発達段階への配慮という立場から適切な表現に見直しをする。今後、教科書に限らず各種の教育関係資料についても、十分に注意を払っていきたい。

### 墨田区基本構想審査特別委員会を設置

少子高齢化や地方分権の進展など社会経済環境の変化に対応するため、墨田区は、昭和五十五年にスタートした基本構想を見直し、区民と区が共有するまちづくりの基本理念や、めざすべき「すみだ」の将来の姿を描き、区民と区が一緒になって「すみだ」をつくる協治（ガバナンス）の道筋を明らかにすることをしました。

墨田区基本構想審査委員会が区長に答申した、新しい墨田区基本構想の概要は次のようなものとなっています。

- まちづくりの基本理念  
「一水と歴史のハーモニー」  
まちづくりの基本目標（表題）  
1 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる  
2 地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる  
3 新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる  
4 安心して暮らせる「すみだ」をつくる  
5 区民と区が協働で「すみだ」をつくる

### 平成16年度決算特別委員会を開催

平成十六年度の区の決算を審議するため、十月十九日から三十一日まで、決算特別委員会が開かれています。わが会派からは、次の委員が選ばれています。

- 決算特別委員会委員  
副委員長  
中嶋 常夫  
委員  
瀧澤 良仁 中村 光雄  
松野 弘子 中沢 進  
坂下 修 出羽 邦夫  
樋口 敏郎

### 平成18年度予算編成への要望書を提出

私たち自由民主党会派は、区長に対し、平成18年度予算への要望書を提出しました。主要な要望項目は次のとおりです。



#### 要望書

新たな墨田区基本構想が答申され、まちづくりの理念と地域の課題解決の道筋が明示されました。決定後の基本計画策定に関しては、十分に党派の意見と調整を頂きたい。また、今年九月の総選挙の結果、あらゆる改革の明確な推進が求められました。わが会派は、きびしく新たな気持ちで改革を推進します。

来年度予算の編成時にあたり、主要な要望をいたしますので、十分斟酌されますようお願い致します。

墨田区議会自由民主党  
幹事長 中村 光雄

#### 記

- ① 財政調整における主要五課題の解決
- ② 財源確保へのさらなる検討
- ③ 行財政改革の一層強化
- ④ 新タワー決定後に総合的ビジョン検討
- ⑤ 防災対策における水防訓練・帰宅支援の強化
- ⑥ アスベスト対策の早急な実施
- ⑦ 介護保険制度改正に伴う速やかな実施
- ⑧ 子育て支援のさらなる充実
- ⑨ 教育課題の十分な検討

### 国及び政府に対しアスベスト対策の抜本強化を要望

墨田区議会は、アスベスト被害に対する区民の不安を解消するため、国や政府に対し、次のような意見書を提出しました。

アスベスト対策の抜本強化に関する意見書  
(前文略)

墨田区議会は、国会及び政府に対し、アスベスト問題に対処するため、次の対策を早急に講じるよう強く要望いたします。

1. 総理大臣を本部長とするアスベスト対策本部を設置し、政府を挙げて、アスベスト対策を推進すること。
2. 地方自治体が実施するアスベスト対策に対し、財政支援を行うこと。
3. アスベストの製造、新規使用の早期全面禁止、在庫の回収、安全除去などの被害防止対策を講じること。
4. 産業保健推進センターや保健所、労務病院等に、健康被害の相談窓口を設置すると共に、

治療の早期承認など診断・治療体制の整備及び研究を進めること。

また、そのための中皮腫登録制度を創設すること。

5. アスベスト取扱い事業所において作業に従事した従業員の健康被害の可能性について、情報提供を行うよう事業者に徹底するとともに、家族、周辺住民等も対象とした健康診断を実施すること。その際には、地方自治体が多額の健康診断を確立できるような支援を行うこと。

6. 現行制度下で救済の対応とならない事例の労災認定のあり方について抜本的に見直し、同時に、現行制度では救済されない人たちの救済を主眼とした新法を早急に制定すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

# 躍進!! 改革自民党

国民の聲は「改革を止めるな」「郵政民営化賛成」



九月十一日に投票された衆議院総選挙で、わが自由民主党は、皆様方の大きな支持を受け、公示前の二百十二を大きく上回る二百九十六議席を獲得。単独過半数を大きく上回る議席数で勝利しました。予想もしなかった大勝に小泉純一郎総裁は、「国民の声は郵政民営化を『暴論』ではなく正論と判断してくれた。国民への感謝と責任感でいっぱいです」と感想を語り、わが党が生まれ変わったことを強調しました。

## 社会保障制度をはじめとした「構造改革」の断行

また、九月二十一日に召集された特別国会で内閣総理大臣に指名された小泉総裁は、二十六日の所信表明演説の中で、「改革なくして成長なし」「民間にできることは民間に」「地方にできることは地方に」の方針の下、引き続き構造改革を断行すると決意を述べました。

具体策として、郵政民営化法案の成立に続いて、政府系金融機関の改革、補助金改革・税源移譲、地方交付税見直し等の三位一体改革を実現するとともに、国民の将来に対する不安を解消するために年金、医療、介護を柱とする社会保障制度を、適正な給付と負担で持続可能な制度とすることが政治の責任だと、断固として改革を進める方針を力強く語りました。

## 改革の旗手、松島みどりさん再選

国民の声が変わる結果と

なった今、改革への高まる期待を背に受けて、わが自由民主党は、「新しい日本、新しい墨田」を切り進めて改革を、勇気と自信をもって進めてまいります。



衆議院議員 松島みどり

## 改革先行！すみだ自民党

学校給食の民営化促進  
墨田区では、二十年前から他区にさきがけ、学校給食の調理業務を民間に委託してきました。

現在、全校実施、栄養士と民間業者のチームワークで、墨田区の給食は高いレベルで、抗アレルギー食にも対応しています。この間に節約できた経費は、年間七億円を超え、累計五十六億円以上の節約ができ、これらは、社会科見学等のバス代や、その他教育費に使用われ、より充実した教育環境づくりに貢献しています。

児童館・児童保育などの民間委託  
また、児童館、児童保育運営に  
おいても、昭和六十一年に公設置  
民営の「さくら橋コミュニティ  
センター」を先駆けとして、その  
後、墨田、外手、文化、中川、東  
向島、立川児童館に民間委託、あ  
るいは指定管理者制度を導入する  
とともに、児童保育も社会福祉法

人への委託を進め、民間活力の導入で、多様な対応・サービスが展開され、子ども達が喜んで児童館を利用しています。

その他、図書館の窓口業務の民間委託や、施設の指定管理者制度導入など、「民間で出来ることは民間に」を合言葉に改革を進めています。

私たちは改革を進める上で、単に経費面でのメリットばかりでなく、あくまでも利用者の便宜、多様な要望へ対応する事を念頭に、また、適正な競争により、より良い民間業者の育成を目指し、区民のため、将来の墨田区のため、すみだ自民党は、これからも積極的  
に改革を推進してまいります。

## 墨田区のアスベストの総合対策

住宅や企業の事業所を対象としたアスベスト総合対策をまとめ、九月十二日から実施しています。

対策の内容は、アスベスト除去などのための特別融資制度と除去に伴う調査分析費用の助成、また、アスベストに関する相談で、区が建築士の派遣を必要と判断した場合、東京都建築士事務所協会所属の建築士が現地調査を行うというものです。

## 墨田区の木造住宅耐震改修促進の助成

木造住宅の耐震改修に要する経費の一部を助成し、地震による木造住宅の倒壊等の被害から区民の生命、身体及び財産を保護すると共に、木造住宅の安全性を高めることにより災害に強いまちづくり

を行おうとするもので、平成十八年一月一日から施行になります。緊急対応地区は、

- ★東向島四丁目一丁目六丁目まで
- ★墨田一丁目一丁目三丁目まで
- ★京島一丁目及び三丁目
- ★八広一丁目
- ★八広二丁目一丁目五十二番まで
- ★八広三丁目一丁目三十五番まで
- ★八広四丁目一丁目四十七番まで
- ★八広五丁目

- ★助成金の交付対象と助成金額  
助成の対象は、昭和五十六年五月三十一日以前に着工された木造住宅を区内に所有し居住する個人または、当該建築物に居住する個人が耐震改修を行った場合に、耐震改修に要した経費及び耐震改修計画の作成に要した費用が限度額を決めて交付されます。
- ★簡易改修工事費  
助成金の限度額は、
- ★耐震改修工事費  
五十万～七十万円
- ★耐震改修計画作成費  
二万五千円

## 小児の初期緊急 平日夜間診療事業

近年、核家族化が進む中で、育児に不安を持つ保護者が増えています。平日の夜間に小児専門初期診療を行うことで、その不安の一因を解消すると共に、区民が安心して子育てができる環境を整えることを目的としています。

すみだ医師会や同愛記念病院的の協力で、同愛記念病院一階の救急外来内に「すみだ平日夜間救急」などもクリニックを開業し、休日・年末年始を除く月曜から金曜日の午後七時から午後十時まで受診することが出来ます。対象者は満十五歳以下の救急患者で、平成十七年十一月一日から実施されます。

# 改革を推進する！すみだ自民党

ご相談はもよりの議員へお気軽に

阿部 幸男 京島3-51-14 ☎3617-2284	沖山 仁 京島1-39-1-918 ☎3616-1050	木内 清 本所2-9-5 ☎3624-8235	小池 武二 八広6-4-6-506 ☎3617-3184	坂下 修 向島3-18-10 ☎3626-2524	桜井 浩之 立花5-28-3 レジデンス石蔵210 ☎5631-7757	瀧澤 良仁 墨田5-33-4 ☎3611-4003	田中 邦友 八広1-39-17 ☎3616-7014
出羽 邦夫 八広4-11-19 ☎3616-5834	中沢 進 堤通1-5-9 ☎3611-0740	中嶋 常夫 業平4-5-16 ☎3622-7894	中村 光雄 両国4-7-10-403 ☎3632-7870	西原 文隆 押上1-25-5 ☎3622-9570	早川 幸一 石原3-19-1 ☎3622-7008	樋口 敏郎 八広3-6-3 ☎3617-4129	松野 弘子 墨田3-30-7 ☎3610-3863

編集後記  
この度の衆議院議員選挙におきましては、改革推進に多くの方々に関心を持っていただいたことと思います。ひとりひとりの票が政治を左右する。「私も意思表示をしなくては」そんな思いが、投票率アップにも表れたのでありましょう。どうぞこれからも、政治に対する期待、関心を持ち、私たち自民党会派へ、ご意見、ご要望をお寄せいただけますようお願いいたします。(出羽邦夫)